

教育機関自己評価

日本語教育機関アカデミー・オブ・ランゲージ・アーツは、以下の項目につき点検・評価を行いましたので、下記の通りご報告いたします。

令和2年5月31日

点検・評価基準：

各項目を4段階（A：達成されている又は適当である B：ほぼ満足のいくものであるが、一部に改善の余地がある C：改善の余地がある D：改善が必要である）で評価する。

点検・評価項目

（1）教育の理念・目標

本校は、日本語教育を行う語学教育機関として設立されて以来、学習者が日本語を学習する目的を重視し、この目的達成の手段としての語学教育を行ってきた。学習者の目的は、就職、進学、日本での在留等多岐に亘るが、学習者は日本語を習得して、それぞれの目的達成を目指している。本校は、これに寄与できる語学学習カリキュラムを作成し、学習後の目的達成に必要と思われる日本語コミュニケーション能力の付与のみならず、その関連知識と情報の提供にも努める。また、単なる語学教育に留まらず、学習者の留学生活の指導及び支援、就職支援、進学支援も行う。

① 学校の理念、目的・目標や育成する人材像が明確となっているか	A
② 学校の理念、目的・目標が社会のニーズに合致したものとなっているか	A

（2）学校運営

① 学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか	A
② 学校の理念や目的に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	B
③ 組織運営や人事、財務管理に関する規定や意志決定システム、コンプライアンス体制が整備されているか	B

（3）教育活動

① 教育理念等に沿った教育課程が体系的に編成されているか、	A
② 成績評価や進級、修了の判定基準は明確となっているか、	A
③ 成績評価や進級、修了の判定基準が適切に運用されているか、	A
④ 教員の指導力向上のための取組が行われているか	B
⑤ 教育課程の改善のための取組が行われているか	A

(4) 学修成果

① 生徒の日本語能力の向上が図られているか、適切に把握しているか、	A
② 生徒の進路を適切に把握しているかといった観点	A

(5) 生徒支援

① 生徒に対する学習相談や進路に対する支援体制が整備されているか、	A
② 健康管理や日本での生活指導などへの支援体制が整備されているか、	A
③ 防災や緊急時における体制が整備されているかと	B

(6) 教育環境

① 学校の施設・設備が十分かつ安全に整備されているか、	B
② 教材は適切か、	A
③ 学習効率を図るための環境整備がなされているか	B

(7) 入学者の募集

① 入学者の募集は適切に行われているか	A
② 入学者の募集時に学校情報は正確に伝えられているか、	A
③ 授業料等は適切か	A

(8) 財務

① 中長期的に財務基盤は安定しているか、	B
② 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか、	A
③ 財務について会計監査は適切に行われている	A
④ 財務情報の公開の体制はできているか	C

(9) 法令遵守

① 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守されているか	A
② 個人情報の保護の取組、	A
③ 自己点検の実施と改善及びその公開を適切に行っているか	B

(10) 地域貢献・社会貢献

① 日本語教育機関の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	C
② 生徒のボランティア活動への支援を行っているか	C
③ 公開講座等の実施などの取組を行っているか	D